

Health and Behavior Sciences 投稿規定

1. 本誌に投稿できるのは原則として日本健康行動科学会会員とするが、編集委員会が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼することがある。
2. 投稿内容は、健康行動に関係するすべての研究領域における総説、原著論文、研究資料、実践研究、事例報告、研究レポート、書評などとし、未発表のものに限る。掲載された論文の著作権は日本健康行動科学会に帰属する。
 - 1) 総説：特定の研究領域、研究テーマに関する知見を体系的にまとめた論文。
 - 2) 原著論文：本学会の目的にかなった新たな知見を提示するものであり、目的、方法、結果、考察、文献などの項目を用いてまとめた論文。
 - 3) 研究資料：本学会にとって研究上価値があると思われる客観的な資料を提示するものであり、原著論文に準じた形式でまとめた論文。
 - 4) 実践研究：指導、治療、臨床などの現場からの知見や情報に基づく研究で、適切な分析・記述手法が用いられ考察されている論文。
 - 5) 事例報告：少数の事例について詳細に観察・研究し考察されている論文。
 - 6) 研究レポート：1)～5)のいずれにも該当しないが、本学会にとって研究上価値がある内容が含まれている報告。
3. 原稿の採択および掲載の時期については、本誌の編集委員会において決定する。本誌に掲載された原稿は、原則として返却しない。
4. 原稿は、原則としてワードプロセッサで作成するものとし、A4判縦置き横書きとする。余白は、上35 mm、下30 mm、左右それぞれ30 mmとする。字体は明朝体、11ポイントとする。行間はダブルスペースとする。ページ下部には、最初のページから順にページ番号を付ける。
5. 総説、原著論文、研究資料、実践研究、事例報告、研究レポートの掲載には、刷り上がり1ページにつき、白黒ページは3,000円、カラーページは10,000円を徴収する。但し、依頼原稿はこの限りでない。
6. 図や表は、直接印刷できるような鮮明なものとし、それぞれ必ず通し番号とタイトルをつけ、郵送の場合は1枚ずつ台紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。計量単位は、原則として国際単位系 (SI) とする。図表の挿入箇所は、本文原稿に数行間隔を空け、そこに朱書きによって指示する。
7. 本文中における図・表の表記は、日本語原稿では図1、表1、英語論文では Figure 1, Table 1 のようにする。
8. 本文中における文献の記載は以下の様式とする。

著者が1人の場合

山田 (2009)、または (山田, 2009)。
Yamada (2009), または (Yamada, 2009).

著者が2人の場合

山田と鈴木 (2009)、または (山田と鈴木, 2009)。
Yamada and Suzuki (2009), または (Yamada and Suzuki, 2009).

著者が3名以上の場合

山田ら (2009)、または (山田ら, 2009)。
Yamada et al. (2009), または (Yamada et al., 2009).
9. 文献リストは、本文の最後に著者名のABC順に一括して下記の様式で掲載する。

雑誌の場合

青木 X X, 山田 X X, 鈴木 X X (1997) 立位姿勢における X X の検討. *Health Behav Sci* 7 (1): 7-12
King N, Grist AH, French MA (1993) Response to xxx xxxxx xxxxxx. *J Appl Physiol* 68(3): 218-225
Sasaki Y (1981) Effects of xxx xxxxxx xxxxxx xxx xxxx. *Jpn J Physiol* 32 (2): 469-475 [*In Japanese with English Abstract*]

本の場合

飯田太郎, 中島 X X (1989) 日常の身体活動. (運動と健康, 上野太郎著). X X 出版: 東京, pp. 55-76
Sakai M, Fraser JG, Conway MJ (2008) The behavioral xxxxxxxx xxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

xxxx xxxxxxxx. In: Klemm WR, Vertes RP (eds)
Brainstem mechanisms, Wilkey-Interscience, New-
York, pp. 11-54

10. 注をつける場合は、該当する箇所の右肩に^{1)1, 2)}の
ように通し番号をつけて、巻末に一括してその番号
順に記載する。
11. 書評以外の原稿（総説、原著論文、研究資料、実践
研究、事例報告、研究レポート）には、英語による
250語以内の抄録と6つ以内のKey Words（キーワ
ード）、およびそれらの和訳文を添える。
12. 投稿する原稿は、第1ページに原稿の種類（総説、
原著論文、研究資料、実践研究、事例報告、研究レ
ポート、書評など）、表題、著者所属機関名、著者
氏名、原稿連絡先住所・FAX番号、電子メールアド
レス、英文表題、著者所属機関名（英文）、著者氏
名（英文）を明記する。第2ページには表題を再度
記載し、3行開けて続けて本文、注、文献、図表の
順に通し番号をつけて記す。書評以外の原稿（総説、
原著論文、研究資料、実践研究、事例報告、研究レ
ポート）は、最終ページに英文抄録とその和訳を記
す。

なお、英文原稿の場合は、原稿全体の和訳文の提
出にご協力ください。

原稿を郵送する場合は、正本とそのコピー1部の
計2部を提出する。

13. 掲載論文の抜刷を希望する場合は、著者校正のとき
に、その必要部数をグラ刷の表題のページに朱書き
する。抜刷費用は投稿者の実費負担とする。
14. 本学会会誌の発刊回数は、年度内の9月と3月の2
回とする。9月発刊の会誌には、学術集会の抄録を
掲載する。
15. 投稿論文は下記に送付する。電子メールによる送付
の場合は、添付ファイル数、添付ファイル名と使用
ソフトウェア名を必ず記載する。
原稿送付先
〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4-1
札幌国際大学 国田研究室内
日本健康行動科学会 編集委員会
電子メールアドレスは別に定める。
16. 本規程の改廃は日本健康行動科学会理事会の承認を
受けて行う。

附則 本規定は2002年4月1日から適用する。

2005年10月8日から適用する。

2006年10月6日から適用する。

2009年10月3日から適用する。

2011年3月15日から適用する。

2011年11月1日から適用する。

2012年4月1日から適用する。

2014年4月1日から適用する。

2017年3月17日から適用する。